

ワークショップレポート

～歴史的建造物エリアの未来を考えよう！～

歴史

VOL.3

館林市では館林駅東側のまちの将来像を話し合い、まちづくりの方向性を示す未来ビジョンの策定を目指す取り組みを進めています。

本取組みの一環で、2024年11月29日(金)にワークショップを開催し、歴史的建造物エリアのターゲットや機能、エリアのコンセプトを検討するため、館林市でまちづくりに関する事業・活動をしている方々約20名の皆さんにご参加いただきました。前半は歴史建造物エリアにある外池商店、旧二業見番組合事務所を内覧しました。後半は市民センターでワークショップ形式で外池商店や旧二業見番組合事務所だけでなく、歴史的建造物エリアの活用方針について意見交換しました。このエリアのビジョンを参加者の皆さんで検討しました。

施設見学の様子



ワークショップで出たアイデア・意見

歴史的建造物エリア

■エリアのコンセプト

- ・語り継がれるまちにしたい／昼から夜につないでいきたい
- ・日常に立ち寄れる／通りすがりに寄りたい
- ・ハレの日やお祝い事で使えるような場所がほしい
(七五三・結婚式場・・・家族でお祝い)
- ・昔ながらの店舗を残したい

■ターゲット

- ・地元の人を楽しめる場所をつくりたい
- ・子供や学生、若い人が集える場所を設けたい

■必要機能

- ・パン屋やパスタ・ピザ屋がほしい(小麦の産地)
- ・シェアラウンジや貸しスペースをつくりたい
- ・野菜の直売所がほしい(顔が見える場)
- ・短期貸店舗(チャレンジショップ)をやってみる

■課題

- ・車でアクセスしづらい／駅から歩くイメージがない
- ・昼間に空いているお店が少ない(昼もにぎわう通りにしたい)

市民センターでのワークショップの様子



今回のワークショップは2025年2月頃に開催予定です。今回出たアイデアをベースに課題を整理し、取り組むべきまちのビジョンを考える予定です。